**県央地区支部活動報告**

**県央地区第１支部**

第1支部は長崎県島原病院、島原市医師会訪問看護ステーションQ、松岡病院、島原市医師会看護学校で活動しています。今年度は、哲翁病院からも入会があり、5施設となりました。しかし、会員数は63名から43名へと減少しております。今後、各施設、幹事、リーダーと協力しながら、看護連盟活動をひとりでも多くの方にわかって頂きたいと思います。

　2024年度は活動として、県政報告会で、島原市医師会看護学校の定員割れなどの現状報告や、会員の学習の機会として、合同研修会への参加を実施しました。また、看護連盟会員の増加に向けて、青年部によるキャラバン活動を看護学生、新規病院(哲翁病院)に向けて行ってもらいました。学生は、看護師の代表を国政に送り出さないといけないことは認識できたようでした。参議院議員選挙に向け、後援会への呼びかけを行っていますが、会員のいない病院でも、入会して頂くことができています。今後も、ひとりでも多くの会員を増やしていけるように努力していきたいと思います。

　　　　　　　　　　　　　　　　　県央地区第１支部　支部長　石田佳子

**県央地区第2支部活動報告**

　県央地区第2支部は、愛野記念病院、公立小浜温泉病院、老健おばまの3施設で活動しています。会員数は187名（2025年4月1日現在）です。

　2024年度は、第27回参議院議員選挙にむけて、組織内候補者の認知度を高め、目標数獲得に繋がるよう活動してきました。その一つとして、青年部と協働しキャラバン活動を行いました。雲仙市にある4施設を対象に研修会を実施し、看護職や看護補助者を含む延べ173名にご参加いただくことができました。

連盟活動の紹介と連盟と政治の繋がり、看護職の議員がどう活躍されているか等たくさんの方と情報共有することができました。

更にこの繋がりを強め、第27回参議院議員選挙において大きな力となるよう活動していきます。

県央地区第2支部　支部長　松坂仁美

**県央地区第3支部**

　2024年度諫早総合病院では、JCHOの方針で連盟役員活動ができなくなったため、第3支部の役員交代について検討し、支部長・幹事長を県役員が兼任し、幹事をこども医療福祉センターより1名（看護部長）を選出し活動しました。そのため、県央第3支部自体の活動がほぼできず、長崎県看護連盟や県央地区支部合同会議で決定した事項を諫早総合病院看護部長に伝達し、院内で広げてもらう形となりました。

　2025年度は、諫早総合病院の会員が激減しており、第27回参議院議員選挙に向けて、一人一人の会員が子会員の投票行動に繋げていく活動をさらに強く推進していきたいと思います。

 　　　　　　　　　　　　　　　　県央地区第3支部　支部長　内野かほる

**県央地区第4支部**

県央地区第4支部は、菅整形外科、長崎県央看護学校、看護協会、看護連盟、西諫早病院、日本赤十字社長崎原爆諫早病院の6施設で構成されています。2024年度は、2025年7月の第27回参議院議員選挙に向け、候補者の動向や投票行動の確認等について支部長、幹事長と各施設の連絡員、病棟リーダーで、オンライン会議やLINEでの情報共有を行いました。施設連絡員や各部署リーダーは投票行動の声掛けや、候補者の紹介等積極的に活動しました。当支部は候補者の後援会名簿を554名分（2025/4月時点）集めることができ、目標達成することができました。（目標496名　達成率112％）今回の選挙に向けては、SNSを利用したインスタグラムでの候補者の紹介やLINEでの活動動画視聴を活用し、石田まさひろ議員を知る機会を広げる活動を行いました。

これらが後援会名簿作成における目標達成の要因となったと感じます。

今後、第27回参議院議員選挙において大きな原動力となる施設リーダーが、自施設の投票行動への意識を高め、期日前投票につなげることができるよう、丁寧な声掛けや行動レベルでの支援活動を行っていきたいと思います。また、統一地方選挙に際しては、後援会名簿への記載や講演会の参加等に協力し、候補者について会員へ周知しました。2024年度は、第4支部としての研修会の開催はできませんでしたが、県央地区合同研修会として市議の市政活動報告とコラボした研修会を行いました。今後は、会員数の増加に向け、支部主催で研修会の開催やキャラバン活動をさらに積極的に行うと共に、「看護は一つ」の旗のもと、看護連盟活動の活性化に努めていきたいと思います。

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　県央第4支部　支部長　伊藤麻里

**県央地区第5支部活動報告**

県央第5支部は諫早記念病院とみさかえの園総合発達医療福祉センターむつみの家の2施設で活動しています。施設間で連絡を取り合いながら協力し活動しています。会員数は85名（2025年4月1日現在）です。

2024年度は施設内でオンライン講演会を活用した研修会の実施、また県主催研修会や県央地区6支部合同研修会に多くの会員が参加し、自施設で伝達し情報共有ができました。

議員との連携としては、後援会活動への参加や諫早市議「市政報告会」の運営を第4・5支部と共同で開催し有意義な意見交換会となりました。

今年度は、引きつづき2施設の連携を深め、会員の方々に看護連盟活動の理解と情報発信に努めていきたいと思います。

また、第27回参議院議員選挙にむけて、組織内候補者の確実な投票行動へ結びつくよう活動していきます。

県央地区第5支部　支部長　佐藤美由紀

**県央地区第6支部**

県央地区第6支部は、市立大村市民病院、貞松病院、南野病院、長崎精神医療センター、活水女子大学、向陽高等学校、わたのべ内科医院、長崎川棚医療センターの会員数88名(2025年4月1日現在)で構成されています。

　2024年度の活動としては、県央地区第6支部合同研修会を2024年11月18日、中地区公民館大会議室にて開催し67名の参加がありました。講師として山口ミユキ名誉会長をお招きし、講演テーマ『看護、ただ一筋に、そして「明日を生きる」』を通して、これまでの看護の歴史とこれからの看護のビジョンについて理解し、名誉会長の思いを今後も繋げていきたいと感じました。

また、青年部のキャラバン活動も各病院で実施し、看護と政治の繋がりや重要性が少しでも理解できたと実感します。今後も、支部活動や研修等を通して連盟会員や看護職員へ情報発信して連盟活動を盛り上げていきたいと思います。

県央地区第6支部　支部長　井上　二郎